

感染防止策チェックリスト

① 飛沫の抑制(マスク着用や大声を出さないこと)の徹底	○	<p>【大声なしの場合】</p> <p>飛沫が発生するおそれのある行為を抑制するため、適切なマスク(不織布マスクを推奨)の正しい着用や大声(※)を出さないことを周知・徹底し、そうした行為をする者がいた場合には、個別に注意、退場処分等の措置を講じる。</p> <p>(※) 大声の定義を「観客等が、①通常よりも大きな声量で、②反復・継続的に声を発すること」とする。</p>
② 手洗、手指・施設消毒の徹底	○	こまめな手洗やアルコール消毒による手指消毒の徹底を促す(会場出入口等へのアルコール等の手指消毒液の設置や場内アナウンス等の実施。)
③ 換気の徹底	○	機械換気による常時換気又は窓開け換気。
④ 来場者間の密集回避	○	入退場時の密集を回避するための措置(入場ゲートの増設や時間差入退場等)の実施。
	○	休憩時間や待合場所での密集も回避するための人員配置や導線確保等の体制構築。
	○	大声を伴わない場合には、密にならない程度の間隔の確保。
⑤ 飲食の制限	○	飲食時の感染防止策の徹底。
	○	飲食中以外のマスク着用の推奨。
	○	長時間マスクを外す飲食は、隣席への飛沫感染のリスクを高めるため、可能な限り、飲食専用エリア以外(例：観客席等)は自粛。
⑥ 出演者等の感染対策	○	有症状者(発熱又は風邪等の症状を呈する者)は出演・練習を控えるなど日常から出演者やスタッフ等の健康管理を徹底する。
	○	練習時等、イベント開催前も含め、声を発出する出演者やスタッフ等の関係者間での感染リスクに対処する。
⑦ 参加者の把握・管理	○	入場時の連絡先確認やアプリ等を活用した参加者の把握。
	○	入場時に検温し、有症状(発熱又は風邪等の症状)者の入場を確実に防止。
	○	時差入退場の実施等イベント前後の感染防止の注意喚起。